

2010 索道安全報告書

だいせんホワイトリゾート



株式会社だいせんリゾート

《豪円山エリア》

豪円山第1ペアリフト・豪円山第2ペアリフト・豪円山第3ペアリフト
豪円山第3ペアリフトB線

《中の原エリア》

中の原第1トリプルリフト・中の原第2トリプルリフト・中の原第3トリプルリフト
中の原第4ペアリフト

《上の原エリア》

大山上の原ハイペアリフト・大山上の原スキルリフト・大山上の原フレンドリフト

《下の原エリア》

大山上の原ウェーブリフト・大山上の原エコーリフト

鳥取砂丘大山観光株式会社

《国際エリア》

大山国際第1リフト・大山国際第2リフト・センター4（フォー）・大山国際第5リフト
大山国際第6リフト・大山国際第7リフト・大山国際第8リフト・大山国際第9リフト

安全報告書

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対しまして、日頃のご利用とご理解、誠にありがとうございます。

当社は、経営理念の第一に安全の確保を掲げ、法令を遵守しながら安全輸送に務めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

だいせんホワイトリゾート

株式会社だいせんリゾート

鳥取砂丘大山観光株式会社

代表取締役 澤 志郎

2. 基本方針と安全目標

(I)基本方針

安全第一の意識を持って事業活動を行うための行動規範を次の通り定め、関係職員に周知、徹底しております。基本方針と安全目標は以下の通りです。

- (1)一致協力して輸送の安全の確保に務めること。
- (2)輸送の安全に関する法令及び関連する規定(本規定を含む)をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を執行すること。
- (3)常に輸送の安全に関する状況を理解するよう務めること。
- (4)職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に務め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
- (5)事故、事故のおそれのある事態、災害その他輸送の安全確保に支障を及ぼすおそれのある状態が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- (6)情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7)常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(II)安全目標

平成22年度の輸送安全目標は、乗降時の事故ゼロを目標としていましたが、利用者の皆様のご協力もあり、無事故を達成することができました。

平成22年度～平成23年度

- ・索道施設の保守の強化を図り、設備不具合による事故を発生させない。
- ・社員研修、教育に注力し労働災害を発生させない。

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1)索道運転事故(索道人身傷害事故)

鉄道事業法第19条、同19条の二に係る届出事項はありませんでした。

(2)災害(地震や暴風雨、豪雪など)

災害による運行停止・豪雪で運行が不可能と判断し、一部のエリアで2日間運休致しました。

・強風の影響で営業開始時刻を遅らせる、営業終了時刻を早める、また一時見合わせ等により、運行の安全確保に努め、一部のリフトは状況により、数時間運休致しました。

(3)インシデント(事故の兆候)

22年度は国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。

(4)行政指導等

中国運輸局鉄道部より、年末年始の輸送等に関する安全総点検に係る査察がありました。

査察日程 ・平成22年12月15日(水)、16(木)

査察内容 ・総点検に関する取組み状況

(株)だいせんリゾート 鳥取砂丘大山観光(株) 国際エリア

・運輸安全マネジメントの事前説明 (株)だいせんリゾート

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1)人材教育

当社では、輸送や皆様の安全に役立つよう、シーズン営業開始前に施設及び取り扱いについての安全教育ならびに救助訓練を実施しております。シーズン中は、索道技術管理者が中心となり、教育指導を適時実施しております。

(2)緊急時対応訓練

当社では、緊急時の安全に備え、下記の訓練を実施しております。

・だいせんホワイトリゾート教育訓練(シーズン前、12月3日)

・エリアごとの救助訓練(1月初旬)

(3)安全のための投資と支出 22年度

《豪円山エリア》

豪円山第1リフト

緊張シリンダー更新

豪円山第2リフト

ローディンググカーペット撤去

《上の原エリア》

上の原フレンドリフト

終端滑車ゴムライナー・ベアリング交換

上の原スキルリフト

終端滑車ゴムライナー・ベアリング交換

《中の原エリア》

中の原第4ペアリフト

搬器座面交換

《国際エリア》

大山国際1号リフト
第山国際2号リフト
センター4（フォー）

《全エリア》

山麓停留所外部停止ボタンの位置変更
山麓停留所外部停止ボタンの位置変更
握索機オーバーホール38機
山麓、山頂停留所押送装置修理工事
不良索輪、ゴムライナー、ベアリング交換
減速機、緊張ユニット等のオイル交換

救助訓練の写真



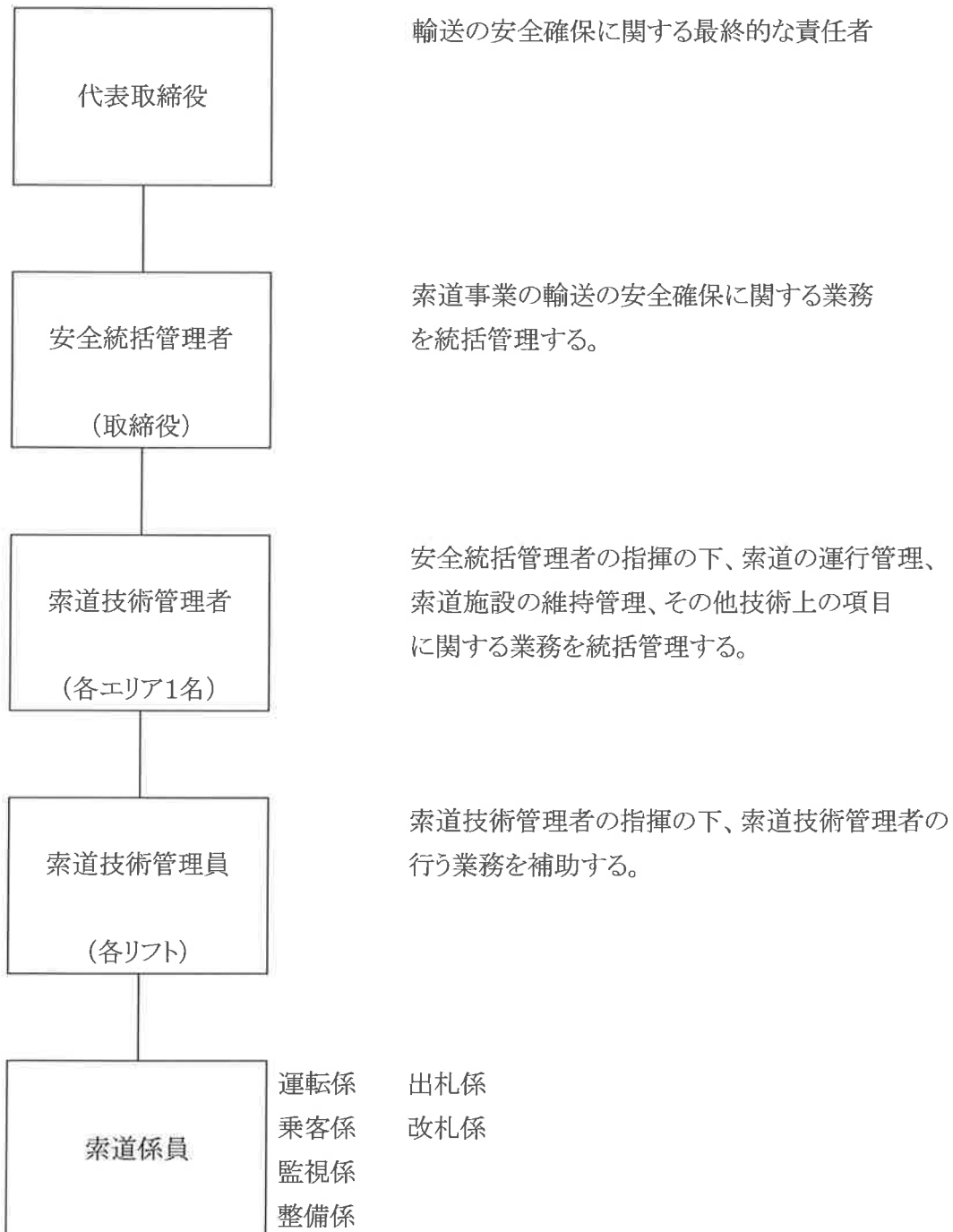
従業員研修会の様子



5. 当社の安全管理体制

当社の安全管理体制は、代表取締役をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

安全管理体制 組織図



6. 利用者の皆様の連携とお願い

①ゲレンデ内の注意事項とお願い

スキー、スノーボードはもともと雪山の中で大自然と共に楽しむスポーツですから、その中には事故につながる恐れのある要素が多くあります。

標示のある無しにかかわらず、スキー場の状況をよく判断し、事故を起こさないよう注意して滑走してください。

当スキー場では皆様の安全を守るために常に努めていますが、安全のために大切なのは何よりもまずスキーヤー、スノーボーダーの皆様の注意深い行動であることを忘れないでください。

- 1) 吹雪、強風、雨、霧などの天候にご注意ください。
- 2) 凹凸、急斜面などの地形にご注意ください。
- 3) アイスバーン、雪崩など自然の障害物にご注意ください。
- 4) 岩石、立ち木などの自然の障害物にご注意ください。
- 5) リフト施設、建物、雪上車両など人口の障害物にご注意ください。
- 6) 他のスキーヤー、スノーボーダーとの接触にご注意ください。
- 7) お客様自らの失敗による事故、怪我にご注意ください。
- 8) 当エリア場内では、パトロール、係員の指示に従ってください。
- 9) 規制区域内、コース外に立ち入らないでください
- 1 0) 当エリア管理区域外での事故は責任を負いかねます。
- 1 1) 当エリアでは場内に掲示している皆様への告知、及び「場内の行動規制」の無視、軽視による事故には責任を負いかねます。
- 1 2) 他のお客様に迷惑を与えるスキーヤー、スノーボーダーには場内より退場していただく場合がございます。

②リフト乗降時の注意事項

- 1) 乗り方に不慣れなお客様は、係員にそのことを申し出てください。
- 2) 衣類、携帯品、髪の毛などが、搬器に巻きつかないように注意してください。
- 3) 搬器から飛降りたり、搬器を揺らさないで下さい。
- 4) 空き缶、煙草の吸殻、その他の物を、リフトから投げ捨てないでください。
- 5) 乗降場では、係員の指示に従ってください。
- 6) 降り場で搬器から降りたら、後ろから来る人の邪魔にならないよう、すぐゲレンデへ進んでください。
- 7) リフト乗車中にリフトが急に止まっても、イスに座ったままお待ちください。係員がすぐに対応いたします。
- 8) 係員が安全にご乗車いただけないと判断したときは、乗車をお断りする場合がございます。

7. ご連絡先

この安全報告書や当社の安全への取組みに対するご意見、ご要望につきましては下記までお寄せください。

〒689-3318

鳥取県西伯郡大山町大山96

株式会社だいせんリゾート

TEL: 0859-52-2315 / FAX: 0859-52-2314

URL <http://www.daisen-resort.jp/>

